

ナルコ薬品株式会社

2023年度 環境経営活動レポート

(対象期間:2023年 4月 1日～2024年 3月31日)



作成日: 2024年7月1日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	1
環境経営方針	1
環境経営方針	2
組織の概要	3
認証・登録の対象組織・活動	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及び実績	4
環境経営活動計画及び取組結果とその評価	5
次年度の目標と計画	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	7
代表者による全体の評価と見直し	7
環境活動の紹介	7
実施体制図及び役割・責任・権限表	8

□ごあいさつ

当社は、1965年7月殺虫剤及びワクチンの販売と害虫の総合防除を通じて、快適環境を保ち人の大切ないのちを守りながら地域社会の発展に貢献することを使命に、社名はアジア全土に分布するユリ科の植物「アマドコロ」の同属である「ナルコユリ」から命名し、設立されました。以来、快適で明るく楽しい生活を創造するために、これまで培ってきた経験と実績を基に、「健康」と「信頼」と「安心」をお約束して、医薬品・防疫薬品・医療機器等の販売から害虫の総合防除まで、快適環境づくり・健康づくりの一翼を担い豊かな地球環境の創造を目指して参りました。これからも私たちは、環境・生活・医療・介護関連業務に携わり、常にお客様の声に耳を傾け、質の高い情報・商品・サービスをお届けして参ります。未来を見つめ私達から子供たちへの希望を受け継ぎ、より人と人との結びつきを大切にして地域に密着した健康で住みよい環境づくりを応援して参ります。また、「新たな価値を創造し、緊張感と厳しさを持って共に発展する」を基本コンセプトとして邁進してまいりますので何卒、なお一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

環境経営方針

<環境経営理念>

ナルコ薬品株式会社は北アルプスを眺望できる文化薫る城下町松本市にあって、快適で明るく楽しい生活を創造するため、医薬品・医療機器等の販売、有害生物の総合防除等を通じて地域社会の発展に貢献しています。安全で安心な商品・サービスを効率よくタイムリーにお客様にご提供し、満足と信頼を頂くことが当社の環境対策と考えています。持続可能な美しい地球環境をかけがえのない子供たちに引き継ぐため、環境問題への対応が重大課題であることを社員全員が常に認識し、環境経営目標、環境経営活動計画を定期的に見直し、自主的・積極的・永続的な環境マネジメントシステムの改善、強化を図ることを誓約します。

<環境保全への行動指針>

当社は環境経営方針、環境経営目標、環境経営活動計画をSDGsのゴールと意識して立案し、実行していきます。

1. 当社に適用される環境関連法規、当社が約束するその他の要求事項を遵守します。
 4. 質の高い教育をみんなに
 16. 平和と公正をすべての人に
法令順守(コンプライアンスの重要性を全社員に発信している)
内部管理体制(経営理念及び経営目標を社内で共有している)
2. 事務所内における消費電力の低減、空調温度の適正化をします。
 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 13. 気候変動に具体的な対策を
エネルギー・温室効果ガスの原状把握
省エネ温暖化対策の計画・取組
3. 温暖化防止の為、業務用車両の確実な点検と効率的な利用の促進を図り、生産性の向上と二酸化炭素排出量の削減をします。
 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 13. 気候変動に具体的な対策を
エネルギー・温室効果ガスの原状把握
省エネ温暖化対策の計画・取組
4. 事務所内における暖房用燃料の削減をし空調温度の適正化をします。
 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 13. 気候変動に具体的な対策を
エネルギー・温室効果ガスの原状把握
省エネ温暖化対策の計画・取組
5. 廃棄物の削減及びリサイクルの推進をします。
 11. 住み続けられるまちづくりを
 12. つくる責任つかう責任
 14. 海の豊かさを守ろう
廃棄物の適切管理・処理及び改善

- 6. 事務所内の節水に努め、総排水量を削減します。
 - 6.安全な水とトイレを世界中に
水資源の利用状況の適切管理及び利用効率の改善
- 7. グリーン購入の推進を図ります。
 - 15.陸の豊さも守ろう
グリーンマーク製品の優先的購入と社内のペーパーレス化の推進
- 8. 社会的使命を自覚してお客様並びに地域社会に奉仕するため、商品・サービスへの環境配慮・改善提案を推進します。
 - 4. 質の高い教育をみんなに
 - 16. 平和と公正をすべての人に
法令順守(コンプライアンスの重要性を全社員に発信している)
内部管理体制(経営理念及び経営目標を社内で共有している)
- 9. 環境経営方針を全社員に周知徹底し、環境保全に関する意識を高め、環境保全状況の知識と認識の向上を図り、継続的な改善に努め、更なる専門性の推進と資質向上を目指し、モニタリング業務の提案により薬剤等の使用を減少させ環境性能の向上 及びサービスの改善を図ります。
 - 4. 質の高い教育をみんなに
 - 16. 平和と公正をすべての人に
法令順守(コンプライアンスの重要性を全社員に発信している)
内部管理体制(経営理念及び経営目標を社内で共有している)

制定日：2017年9月1日

改定日：2023年6月23日

代表取締役社長 山田 敬

取組の対象組織・活動

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
ナルコ薬品株式会社
代表取締役社長 山田 敬
- (2) 所在地
本 社 〒390-0846 長野県松本市南原1-2-3
TEL 0263-25-5982 FAX 0263-25-5987
長野営業所 〒380-0913 長野市川合新田字村西956-1
TEL 026-221-1257 FAX 026-221-1258
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 総務部部长 降旗 大 TEL:0263-25-5982
環境事務局 総務部 TEL:0263-25-5982
- (4) 事業内容
環境衛生分野
医薬品、医療機器・器具、衛生薬品・材料の販売

有害生物防除等
有害生物の総合防除、環境殺菌、ガス燻蒸、防カビ予防
環境測定の提案及び施工
- (5) 事業の規模
資本金 1,000万円
創立 昭和40年7月1日
売上高 635百万円(2024/3期)
- | | 本社 | 長野営業所 |
|-------|------|-------|
| 従業員 | 19名 | 3名 |
| 延べ床面積 | 308㎡ | 111㎡ |
- (6) 事業年度 4月～3月

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録事業者名: ナルコ薬品株式会社
認証登録対象範囲 全組織・全活動
対象事業所: 本社
長野営業所
- 活 動: 医薬品、医療機器、衛生薬品・衛生材料の販売
有害生物防除・環境殺菌・ガス燻蒸・防カビ予防施工
環境測定の提案及び施工



本 社
〒390-0846 長野県松本市南原1丁目2番3号
TEL 0263-25-5982(代) FAX 0263-25-5987



長野営業所
〒380-0913 長野県長野市川合新田字村西956-1
TEL 026-221-1257 FAX 026-221-1258

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2023年（2023年4月1日～2024年3月31日）
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	64,788

廃棄物排出量

一般廃棄物量排出量	Kg	2,855
産業廃棄物排出量	Kg	1,861
総排水量	m ³	138

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.433 kg-CO2/kWh （中部電力2022年度）

□環境経営目標及びその実績

年 度		基準値	2023年		2024年	2025年
項 目		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	11,148	9,922	7,181	9,699	9,476
	基準年比達成率	2017年	89%	64% 128%	87%	85%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減 (長野営業所実績)	kg-CO2	53,603	53,603	56,542 (10,165)	55,000 (9,800)	52,000 (9,200)
	基準年比達成率	2017年	100%	105% 95%	103%	97%
ストーブ燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	1,189	1,070	1,065	1,040	1,000
	基準年比達成率	2017年	90%	90% 100%	87%	84%
二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO2	65,940	64,595	64,788	65,739	62,476
	基準年比達成率	2017年	98%	98% 100%	100%	95%
一般廃棄物の削減 (長野営業所実績)	kg	3,977	3,420	2,855 (1145)	3,381 (670)	3,341 (660)
	基準年比	2017年	86%	72%	85%	84%
産業廃棄物の削減 (長野営業所実績)	kg	133	129 (26)	1,861 (190)	560 (111)	520 (103)
	基準年比		97%	1399%	421%	391%
水道水の削減	m ³	230	198	138	195	193
	基準年比達成率	2017年	86%	60% 140%	85%	84%
グリーン購入	%		購入比率 18%	購入比率24% 133%	購入比率20%	購入比率22%
モニタリング業務の拡販 (長野営業所実績)	千円	31,127	37,352 (9,711)	44,945 (9,415)	38,909 (9,780)	40,465 (12,714)
	基準年比達成率	2017年	120%	144% 120%	125%	130%

対象期間は以下の通りです

2017年	2017年 11月 1日から2018年 3月31日	5ヶ月間
2023年	2023年 4月 1日から2024年 3月31日	12ヶ月間
2024年	2024年 4月 1日から2025年 3月31日	12ヶ月間
2025年	2025年 4月 1日から2026年 3月31日	12ヶ月間

□環境経営活動計画及び取組結果とその評価

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	結果と評価
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	◎	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	・二酸化炭素排出量は基準年度64%、目標値では81%、達成率128%であり売上高原単位も基準年度151%、目標値135%であった。次年度もさらなる空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房 20℃）の徹底とこまめな電灯の消灯を心掛ける。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	継続	
・使用していない部屋の消灯	◎	継続	
・パソコンの省電力設定	◎	継続	
・ブラインド利用による熱の出入りを調整	○	継続	
・照明器具の清掃	○	変更	
・空調設備の清掃	○	強化	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	△	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し	・人員配置の兼ね合いにて効率のよい移動ができなかった。スタッフの技量による得意先の見直しを行うとともに、担当者ごとに移動の効率化を図る。基準年度105%達成率は95%であった。
・効率的なルートで営業	△	継続	
・エコ運転	△	強化	
・アイドリングストップ	△	強化	
・車両点検表による点検の実施	◎	継続	
・専門業者による定期点検	◎	継続	
・エリア別営業活動の見直し	△	継続	
ストーブ燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	◎	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	・ストーブ燃料の二酸化炭素排出量は1065Kg-CO2deで基準年比90%、達成率100%であった。オフィスレイアウトの変更と早い時期からの利用が要因。
・空調温度の適正化（暖房20℃）	○	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	◎	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	・一般廃棄物の削減は基準年比72%、達成率117%であった 次年度も更廃紙のリサイクル化、分別及び書類の電子化の徹底を図る。
・シュレッダーによる廃紙のリサイクル	◎	継続	
・社内LANによる文書の電子化	◎	継続	
・プロジェクター使用による社内会議	◎	継続	
・印刷物の枚数管理	◎	継続	
・両面、集約等の印刷及びコピー	○	継続	
・分別の徹底	○	継続	
・帳票見直しによる印刷物の軽減	○	継続	
産業廃棄物の削減			
数値目標		□上方修正 □下方修正 ■基準見直し	・蛍光灯排出本数は営業上必要。目標値の下方修正が必要と思われる。法令順守による適切な処理を継続する。
・法令順守による適切な処理	◎	継続	
水道水の節水			
数値目標	◎	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	・水道水の削減は基準年基準年比60%、達成率140%であった 次年度も更なる日常的な節水を心がける
・日常的な節水	◎	継続	
グリーン購入			
数値目標	○	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	・グリーン購入の推進は目標24%で達成率133%と目標達成ができた。 次年度もコピー用紙以外のグリーン購入法適合商品の購入を推進する
・コピー用紙のグリーン購入	○	継続	
・コピー用紙以外のグリーン購入	○	継続	
社会貢献			
・会社周辺の清掃	○	継続	年4回（5月、7月、9月、11月）の清掃活動
モニタリング業務の拡販			
数値目標	◎	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	文化財関連施設へのモニタリングも浸透し始めてきており、基準年144%、達成率120%であった2024年度も継続。次年度も新規モニタリング業務の新規獲得を目指す。
・モニタリング業務の営業強化	◎	継続	
・新規得意先の獲得	○	継続	
・顧客満足度の向上	○	継続	
・社員のスキルアップ	○	継続	

□次年度の目標と計画

電力	基準年度	11,148	kg-CO2
	前年度目標/実績	9,922/7181	
	2024年度目標	9,699	

電力による二酸化炭素排出量の削減

- ・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)
- ・使用していない部屋の消灯
- ・パソコンの省電力設定
- ・ブラインド利用による熱の出入りを調整
- ・照明器具の清掃
- ・空調設備の清掃

自動車燃料	全体	長野	
基準年度	53,603		kg-CO2
前年度目標/実績	53,603/56,542	10,165	
2024年度目標	55,000	8,900	

自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減

- ・効率的なルートで営業
- ・エコ運転
- ・アイドリングストップ
- ・車両点検表による点検の実施
- ・専門業者による定期点検
- ・エリア別営業活動の見直し

ストーブ	基準年度	1,189	kg-CO2
	前年度目標/実績	1,070/1065	
	2024年度目標	1,040	

ストーブ燃料による二酸化炭素排出量の削減

- ・空調温度の適正化(暖房20℃)

一般廃棄物	全体	長野	
基準年度	3,977		kg-CO2
前年度目標/実績	3,420/2,855	1,145	
2024年度目標	3,381	670	

一般廃棄物の削減

- ・シュレッダーによる廃紙のリサイクル
- ・社内LANによる文書の電子化
- ・プロジェクター使用による社内会議
- ・印刷物の枚数管理
- ・両面、集約等の印刷及びコピー
- ・分別の徹底
- ・帳票見直しによる印刷物の軽減

産業廃棄物	全体	長野	
基準年度	133		kg
前年度目標/実績	129/1,861	26/190	
2024年度目標	560	111	

産業廃棄物の削減

- ・法令順守による適切な処理

水道水	基準年度	230	m ³
	前年度目標/実績	198/138	
	2024年度目標	195	

水道水の節水

- ・日常的な節水

グリーン購入	基準年度		基準年度 購入比率
	前年度目標/実績	18%/24%	
	2024年度目標	20%	

グリーン購入

- ・コピー用紙のグリーン購入
- ・コピー用紙以外のグリーン購入

社会貢献

- ・会社周辺の清掃

モニタリング業務の拡販

- ・お客様の実情把握のためのモニタリング業務の営業強化
- ・新規得意先の獲得
- ・顧客満足度の向上
- ・社員のスキルアップ

モニタリング	全体	長野	
基準年度	31,127		(千円)
前年度目標/実績	37,352/44,945	9,415	
2024年度目標	38,909	9,780	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び結果、並びに違反、訴訟等の有無

適用される法規制	適用される事項
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物
消防法(危険物)	指定数量以上の保管
医薬品、医療機器等の品質、有効	医薬品販売業許可、高度管理医療機器等販売業許可 商品の販売
毒物及び劇物取締法	毒劇物一般販売業登録 商品の販売
グリーン購入法	できる限り環境物品等を購入する
フロン排出抑制法	管理する第一種特定製品の設置環境・使用環境の維持保全
労働安全衛生法	化学物質の安全性に関する情報伝達のため、SDSによる管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘及び環境上の苦情はありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

電力の二酸化炭素削減、一般廃棄物の削減、水道水の削減、ストーブ燃料の二酸化炭素削減、グリーン購入の推進は目標達成であった。自動車燃料の二酸化炭素削減は未達であったが、燃費は良化、売上高原単位も基準年に比べ良化している。安全運転につながるエコ運転に傾注すること。産業廃棄物の削減については基準の見直しを図る。産業廃棄物の削減については基準の見直しを図る。商品・サービスへの環境配慮・改善提案としての「モニタリング業務の拡販」は目標達成した。今後も継続する。

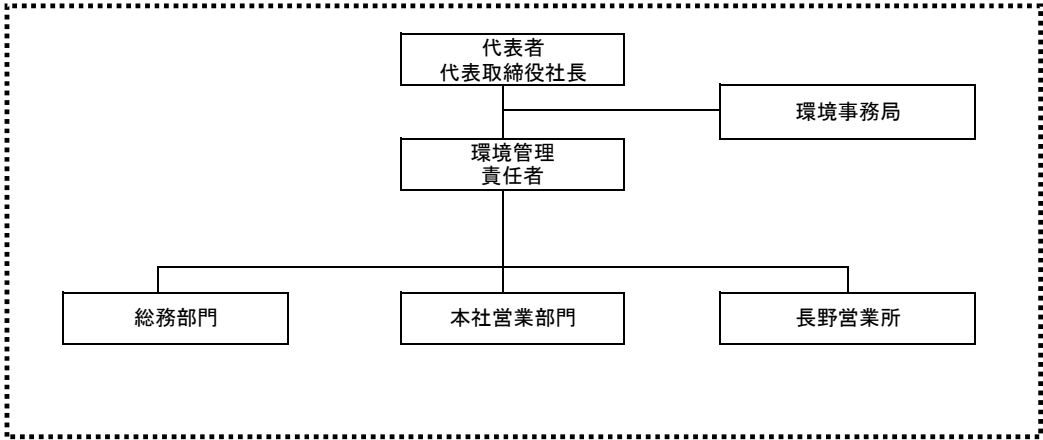
□環境活動の紹介

会社周辺の清掃



作成者: 山田 敬
更新日: 2023年6月23日

ナルコ薬品株式会社 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者 代表取締役社長	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な資源(人、設備、費用等)の準備 ・環境管理責任者の任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・自己チェックリストの評価 ・想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書の作成 ・環境活動レポートの作成 ・教育訓練計画の策定、実施
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境経営システムの構築、実施、推進 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
各部門	・自部門における環境活動の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書による実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員 全ての役員、社員、契約社員、パート、アルバイト等を含む	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 ・会社で実施される教育訓練への参加